



成績を伸ばすカギ ノート術

国民文化祭、創立記念式典、文化祭等の行事が終了しました。皆さん、お疲れ様でした。さて、2学期の締めくくりとなる**期末考査が1週間後**に迫って来ました。センター試験も2カ月後となりました。ここは気持ちを整えて、じっくりと学習に励みたいところです。

さて、皆さんは授業でのノートの取り方をどのようにしていますか。NHKのEテレで『テストの花道』という番組があります（毎週土曜 10 時～10 時半）。これは高校生が、効果的な学習方法を楽しく学ぶことができる番組です。

今日はここで放送された「ノート術」を紹介します。番組では、全く同じ授業を受けた生徒たちの中で、「ノート術」を実行したグループは平均 60 点をとりました。一方で、実行しなかったグループは平均 20 点しかとれませんでした。この結果から、「ノート術」が成績を伸ばすためのカギの1つであることがわかります。

☆ポイント。板書をただ書き写すだけでは、脳は働かず、記憶にも残らない。これをやめることが大切。授業はストーリー（物語）になっている。しかし、板書にはその一部しか書かれていない。そこで、**授業のストーリーを再現できるノート作りが重要である。**

①ノートは余白を広くとって記入する。

②板書以外の先生の話、余白にどんどんメモする。これを「○」や「←」でつなぐ。先生たちは「だから」、「つまり」、「なぜなら」、「ところが」と言った後に、重要なことを言う場合が多い。したがって、これらの接続詞に注意しながら先生の話の聴き、メモする。

③授業に対する自分の感情や疑問を書き込む（「なぜ?」「すごい!」「なるほど!」など）。これを書いているうちに、授業のストーリーが自然と頭に入ってくる。またこの時、実際に脳が活発に働き、後で思い出しやすくなる効果がある。さらに、授業中に眠くならず、時間が経つのが早く感じられる効果もある。

どうでしたでしょうか。「ノート術」を工夫することで、これまで以上の学習成果を上げることが期待できそうです。試してみてください。 (担当: 柿内)

鹿児島県の新奨学金制度 開始へ

やる気のある生徒に、進学の可能性を広げる新制度ができました。本校生も申請し選抜されれば、経済的な支援を受けることが可能になりそうです。

次のステージに向かう君へ。

鹿児島県の新奨学金制度が始まります。

奨学金制度の特長

- 3つの採用枠を創設
『一般枠』・『地方創生枠』・『明治維新150周年記念特別枠』
- 大学等入学手続時に80万円を一括して無利子貸与
- 地方創生枠採用者は、大学等卒業後、一定の期間に鹿児島県内で居住・就業するなどの条件を満たせば、返済不要
- 特別枠での採用者には、80万円を全額給付

※ 詳しい内容は、下記までお問い合わせください。

～ お問い合わせ先 ～

公益財団法人鹿児島県育英財団
TEL: 099-286-5244
http://www.kagoshima-ikuei.jp/
鹿児島県育英財団 検索

在学する学校 又は 卒業した学校

AO・推薦入試3割に 国大協が改革プラン

国立大学協会がAO入試、推薦入試、国際バカロレア取得者対象入試の合格者を入学定員の30%に拡大すること等を盛り込んだ改革プランをまとめました。これを16～21年度に開始するとしました（日本経済新聞2015年9月23日）。これにより、AO・推薦等の入試を活用する生徒が、今後は従来の約2倍に拡大しそうです。これにより生徒の皆さんは、学力試験の他に、面接・小論文試験を受験する機会が増えることが予想されます。したがって、知識を身につけるだけではなく、これを活用して思考し、文章等で表現する力をつけていく必要があります。

楽しんで学ぶ 数学

数学は好き嫌いが分かれるかもしれませんが。しかし数学を学ぶと、論理的に物事をとらえることができるようになるので、実生活の様々な場面での問題解決に役立ちます。そこで今回は、漫画、本、映画を1つずつ紹介します。数学を楽しく学びましょう。

①漫画：『数学ガール』（上下）メディアファクトリー



②本：『数の悪魔』晶文社



③映画：『博士の愛した数式』



以下に、内容を紹介します。①、②は本校の図書室にあります。図書館に足を運んでみてください。

①…「男子高校生の『僕』と数学を愛する美しい女子高校生との恋愛模様が繊細に展開される。論理で導かれる数学と、あいまいな恋愛感情という絶妙なコントラストで人気となった小説を漫画にした。」

②…「数学が大嫌いな少年ロバートの夢に、『数の悪魔』を名乗る奇妙な老紳士が現れて数の法則の不思議と魅力をゲームなどを通して教えてくれる。『1の不思議』、『素数の秘密』など12の数学的テーマを一夜につき1つずつ取り上げて展開していく。」

③…「交通事故で80分しか記憶を保てない天才数学者から、彼の下で働く家政婦とその10歳の息子は数式のもつ美しさを学ぶ。」

出典：『日本経済新聞 プラス1』2013年9月21日